

ICTニュース~MERS~

2015年6月

院内感染対策委員会

2015年6月1日に公表された世界保健機関（WHO）の情報によると、韓国の国立国際保健規約（IHR）担当者から、5月31日に新たな中東呼吸器症候群コロナウイルス（MERS-CoV）感染者2人が報告されました。また、サウジアラビアの国立国際保健規約（IHR）担当者から、5月24日と25日の間に死亡者1人を含む新たな MERS-CoV 感染者2人が報告されました。日本国内での発生はありません。

2012年9月22日に英国より WHO に対し、中東へ渡航歴のある重症肺炎患者から後に Middle East Respiratory Syndrome Coronavirus（MERS コロナウイルス）と命名される新種のコロナウイルス（以下、MERS-CoV）が分離されたとの報告があつて以来、中東地域に居住または渡航歴のある者、あるいは MERS 患者との接触歴のある者において、このウイルスによる中東呼吸器症候群（MERS）の症例が継続的に報告され、医療施設や家族内等において限定的なヒト-ヒト感染が確認されています。

●気を付けるべきこと

今後、MERS-CoV に関して解明が進むまでは、糖尿病、腎不全、慢性肺疾患、免疫不全のある人は、MERS - CoV 感染で重篤化するリスクが高いと考える必要があります。したがって、これらの人は、ウイルスの存在する可能性がある農場、市場あるいは家畜小屋のある地域を訪れる場合、動物に近づくこと、特にラクダと濃厚接触することを避けなければなりません。動物に触れた後には必ず手洗いをし、病気の動物との接触を避けるという一般的な衛生習慣をしっかりと守るべきです。

食品に対する衛生習慣は守るべきものです。ラクダの生乳あるいは尿を飲むこと、また、調理不十分の肉を食べることは避けるべきです。

